

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	生物資源学部資源循環学科物質循環学講座
学年(出発時)	2
大学名	Universität Heidelberg (ハイデルベルグ大学)
国	ドイツ連邦共和国
留学期間	2014年 9月2日 ~ 2015年 8月28日
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	起床
9:00	授業
10:00	授業
11:00	
12:00	昼食
13:00	
14:00	
15:00	授業
16:00	タンデム
17:00	タンデム
18:00	授業
19:00	授業
20:00	クラブ活動(マージャン)
21:00	クラブ活動(マージャン)
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Deutsch A1+	16	80	ドイツ語	中間テスト 期末テスト
Deutsch B1 Intensive	8	40	ドイツ語	中間テスト 期末テスト
Kreative Schreibung 2	3	15	ドイツ語	中間テスト 期末テスト
Biorogy 2	3	15	ドイツ語	レポート テスト
Kroatien Servisch 1	3	15	クロアチア語	テスト未受験
Morekular Biorogy	2	10	ドイツ語&英語	テスト未受験

大学のサポート	
チューターの有無	有り
チューターのサポート内容	ビザ取得 住民登録の手伝い
語学コースの有無	有り(無料)
コース名、料金、期間等	

生活	
住居のタイプ	シェアハウス
住居の名前	Holbeinring
部屋タイプ	一般的なマンションの一室4LDK
ルームメイト(国籍)	ドイツ フランス ハンガリー
室内設備	ベッド 机
共用施設	キッチン ユニットバス トイレ
インターネット設備	有り(低速)
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	路面電車(15分)orバス(10分) その後乗り換え バス(6分)
アルバイトの有無	無し
アルバイトの内容	無し

渡航	
Visaの種類	学生ビザ
Visa申請先	ハイデルベルグ 外国人局
Visa取得にかかった日数	1ヶ月
Visa取得にかかった費用	60EUR
Visa取得方法、提出書類等	黄色い紙に必要事項を記入後、写真とともに窓口へ提出。
留学先大学の最寄り空港までの経路	バス(MeinFernbus)1時間30分 5EUR~10EUR DB(ドイツ国鉄)ICE 19EUR~24EUR
渡航費用	往復19万円
ピックアップサービスの有無	無し

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	とりあえず今のところは留年は無し
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	不明
帰国後の進路	不明

留学にかかった費用	
現地通貨=日本円(約)	120~150円=1EUR (かなり変動が大きい)
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	350EUR
学費(教科書代や語学コース授業料等)	200EUR
宿舍費(月額)	245EUR
光熱費(月額)	無料
食費(月額)	200EUR
その他	200EUR
留学期間中にかかった費用の合計	150万円程度

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

私は、ドイツのハイデルベルグ大学に在籍していました。その間、寮で火事が起きたり、2針縫う怪我をしたり、バスの事故にあったり、銀行の口座が凍結したり、さまざまなことがありましたが、さまざまな事を勉強することができました。人間としても物凄く成長したと感じています。もちろん語学も0からのスタートでしたが、ドイツ語でふざけあったり、植物の本を読めるほどまで成長しました。もちろん、大変だったことやつらかったこと、たくさんありますが、その10倍以上に楽しいことがありました。また、留学期間中に毎月、トルコやイギリス、フランス等々近隣諸国を訪れ、そこでもたくさんのことを学習しました。

今後留学する人へのアドバイス

私のように災難に見舞われる可能性はあまりないとは思いますが、万が一のときに備えておくことは重要だと思います。また、せっかくヨーロッパに行くのならさまざまな近隣国などにも足を運んでみてください。ハイデルベルグ大学であれば定期券の範囲内でフランスにいけます。また、近年は格安航空などが台頭してきていて、空の旅も安くいくことができます。なので、いろいろな国に言ってみてください。それぞれの文化の違いなどを感じてみるのも面白いと思います。また、日本人同士ではあまりつまないほうがいいと思います。折角なのでたくさんの外国人、特にドイツ人の友達を作ったほうがいいです。そして、ホームステイは絶対にしたほうがいいです。experiment EV というドイツ政府が協賛しているホームステイプログラムで2週間、実質タダ同然(保険料等は有り)ですので、ぜひとも参加してみてください。

報告書記入日